

### 【高齢者の呼び方に関する調査】

70歳代の3人に1人、80歳代では2人に1人が、「シニア」にじっくりこず。

年齢とともに、「老人」「年寄り」には慣れるが、「じいさん・ばあさん」に嫌気

老後のライフスタイルの充実や高齢者の自立について調査・研究・提言する、特定非営利活動法人「老いの工学研究所」（大阪府中央区、理事長：西澤一二。http://oikohken.or.jp/）は、このたび、高齢者の呼称について調査を行いました。その結果についてお知らせ致します。

1. 「シニア」をポジティブな呼称だと感じる割合は、年齢とともに減少。70歳代で3人に1人、80歳代では半数以上が、最もポジティブな言葉として「シニア」を選択せず。

#### ●ポジティブだと感じる言葉（年齢別）

	シニア	シルバー	高齢者	老人	年寄り	じいさん ばあさん	どれとも 言えない
20歳代	37%	18%	3%	3%	0%	21%	18%
30歳代	68%	10%	0%	0%	2%	13%	7%
40歳代	63%	9%	1%	0%	0%	7%	19%
50歳代	72%	6%	2%	0%	1%	5%	14%
60歳代	69%	5%	4%	2%	1%	1%	18%
70歳代	65%	10%	9%	1%	3%	1%	11%
80歳代	45%	11%	20%	3%	3%	3%	15%

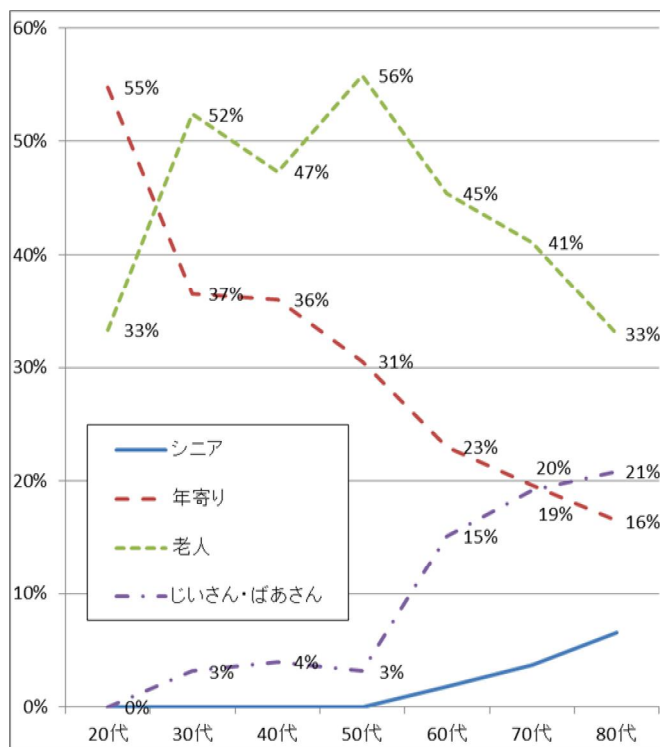
全世代で「シニア」という呼称を最もポジティブだと感じる割合が多くなりましたが、50歳代を超えるとその割合は低下し、70歳代で65%、80歳代で45%という結果になりました。

一方、20歳代では37%にとどまり、21%が「じいさん・ばあさん」を最もポジティブだと感じるなど、世代による語感の違いが伺える結果となりました。

2. 高齢者は、「老人」「年寄り」には慣れてくるが、「じいさん・ばあさん」には嫌気が増す。

#### ●ネガティブだと感じる言葉（年齢別）

	シニア	シルバー	高齢者	老人	年寄り	じいさん ばあさん	どれとも 言えない
20歳代	0%	0%	10%	33%	55%	0%	2%
30歳代	0%	3%	3%	52%	37%	3%	2%
40歳代	0%	1%	5%	47%	36%	4%	6%
50歳代	0%	1%	4%	56%	31%	3%	5%
60歳代	2%	2%	4%	45%	23%	15%	8%
70歳代	4%	3%	5%	41%	20%	19%	8%
80歳代	7%	3%	5%	33%	16%	21%	14%



「老人」「年寄り」という言葉は、年代が上がるにつれてネガティブだと感じなくなる一方で、「じいさん・ばあさん」はネガティブを感じる人が増えており、年齢とともに嫌がられる言葉であることが分かります。

様々な商品・サービスで、ポジティブなニュアンスを込めて高齢者を「シニア」と呼称するのが一般的になってきましたが、今回の調査からは、高齢者自身が、それにしっくりとは来ていないことが分かりました。

もともと敬意や愛情を含んでいた「老人」「年寄り」「じいさん・ばあさん」といった言葉も、以前とは異なるネガティブなニュアンスを含んで捉えられるようになっており、「高齢者」という単に年齢を基準とした言葉以外には、適切な呼称が見つかっていない状況であると言えます。

また、アンケートの質問で、「ポジティブ・ネガティブ」などの英語を使っていることに対して、高齢の回答者から「日本語で表現できるのに、英語を使わないでもらいたい」といった声が少なからず寄せられたことから、高齢者はそもそも、英語の多用や英語を使った呼称に違和感を持っているとも考えられます。

#### 【調査概要】

- ・ 調査期間：2014年1月8日～3月7日
- ・ 調査方法：郵送、インターネット
- ・ 回答者：20歳～87歳の男女851名（男性424名／女性427名）

#### <お問い合わせ先>

特定非営利活動法人「老いの工学研究所」  
 大阪府大阪市中央区伏見町四丁目2番14号  
 研究員 川口 雅裕  
 TEL：06-6223-0001  
 E-mail：info@oikohen.or.jp